

# JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

*JEITA RC-5125A*

**電子機器用スライドスイッチ**

**Slide switches for use in electronic equipment**

1994年2月制定

2017年2月改正

作成

標準化専門委員会

Technical Standardization Committee

接続部品標準化WG

Technical Standardization Working Group on Connectors & Switches

発行

一般社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

## 目 次

ページ

まえがき	
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語の定義	1
4 スイッチの種類	1
4.1 形状	1
4.2 移動量	2
4.3 使用温度範囲	2
5 定格	2
5.1 定格電圧	2
5.2 定格電流	3
6 性能	3
7 外観, 構造, 寸法及び表示	3
7.1 外観, 構造及び寸法	3
7.1.1 外観及び構造	3
7.1.2 寸法	3
7.2 表示	3
7.2.1 スイッチ本体の表示	3
7.2.2 包装への表示	4
8 試験	4
8.1 標準試験状態	4
8.1.1 試験場所の標準状態	4
8.1.2 判定状態	4
8.2 試験の種類	4
8.2.1 一般試験	4
8.2.2 特殊試験	4
9 包装	5
解説	13

## まえがき

この規格は、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）の電子部品部 標準化専門委員会 接続部品標準化 WG スイッチグループが作成したものである。

これによって、EIAJ RC-5125:1994 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法によって保護されている著作物であるため、許可なくこの規格の一部又はすべてを複製・転載することを禁止する。

この規格は、その一部が、工業所有権（特許権、実用新案権、意匠権など）に抵触する可能性に関係なく制定されている。一般社団法人 電子情報技術産業協会は、このような工業所有権に係る確認について、責任はもたない。

## 電子情報技術産業協会規格

## 電子機器用スライドスイッチ

## Slide switches for use in electronic equipment

## 1 適用範囲

この規格は、主として電子機器に用いる定格電圧 DC 30 V 以下、定格電流 0.3 A 以下の、直流二次側回路を手動で開閉するスライドスイッチ（以下、スイッチという。）について規定する。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**EIAJ RC-0901** 電子部品の製造年月日及び製造年週表示記号

**JEITA ET-7409A** 表面実装部品又はリード端子部品のはんだ接合部における接合耐久性試験方法の選定方法

**JIS C 5445** 電子機器用スイッチー第 1 部：通則

**JIS C 6484** プリント配線板用銅張積層板－耐燃性ガラス布基材エポキシ樹脂

## 3 用語の定義

この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS C 5445** の規定によるほか、次による。

## 3.1

## 作動力

スイッチの切換に必要な隣接する停止位置までつまみを作動するのに必要な力。

## 3.2

## 移動量

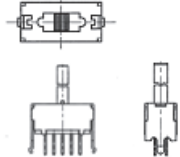
スイッチの切換に必要な隣接する停止位置間のつまみの移動距離。

## 4 スwitchの種類

## 4.1 形状

形状は表 1 による。（形状は一例を示す）

表 1—形状

形状	備考
	ディップはんだ用縦型タイプ プリント配線板に取り付けたとき、つまみがプリント配線板に対し、垂直方向に位置するもの。